

高等学校第2学年 外国語科 学習指導案

1 単元名

WORLD TREK English Communication II (桐原書店)

Lesson 7 The Origins of Halloween

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、高等学校学習指導要領第2章第8節外国語のコミュニケーション英語Ⅱの内容を受けて設定されている。ハロウィーンに関する事柄の起源に関する説明文を扱う中で、リスニングでの概要把握、本文の速読・精読、プレゼンテーション活動、本文の要約など様々な学習活動を通して生徒の4技能をバランスよく育てることができる。

また、日本にも定着してきたハロウィーンについて、その起源について学ぶことにより、生徒が異文化理解の態度を涵養することができる。さらに、世界の祭りやその起源を紹介するプレゼンテーション活動を行う中で、生徒が英語運用能力を高め、異文化理解をさらに深めることができる。

これらのことから、本単元においてプレゼンテーション活動を軸とした授業を展開していくことは、未来の創り手となる「豊かな学び」の創造につながるものであると捉える。

(2) 系統観



(3) 生徒観

○生徒たちは毎時間真剣に授業に臨んでいる。ペア活動やグループ活動においては、お互いに話し合い、協力して課題解決に取り組んでいる。また、お互いの意見や発表に耳を傾け、共に英語の力を伸ばそうとする姿が見られる。英語に対して苦手意識を持つ生徒もいるが、クラス全体の雰囲気の良いため、前向きな姿勢で頑張っている。今後も、苦手意識を持つ生徒が自信を持って発表ができる環境作りや、英語学習に対して積極的に取り組む姿勢を育てていきたい。

○英語の技能等に関する意識調査の結果<平成29年9月調査 調査対象：33人>

ア. とてもそう思う イ. ややそう思う ウ. あまりそう思わない エ. そう思わない

アンケート項目 (一部抜粋)		ア	イ	ウ	エ
①	私は英語を学ぶことは将来の自分にとって役に立つと思う。	72.7%	24.3%	3.0%	0.0%
②	私は、自分の趣味や特技に触れながら、英語で自己紹介をすることができる。	18.2%	66.7%	15.1%	0.0%
③	私は、英語で発表する際、発表後に聴衆から質問が続けてきてても、英語で答えることができる。	5.0%	30.0%	52.5%	12.5%
④	私は、英語で書かれた短い読み物や新聞記事について、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序立てて英語で伝えることができる。	0.0%	15.2%	54.5%	30.3%
⑤	私は、英語で発表する時、聞き手が発表の内容について興味・関心があるかどうかを事前に考える。	6.1%	39.3%	48.5%	6.1%

⑥	私は、英語で発表する時、聞き手に発表後どのような反応や行動をしてほしいかを事前に考える。	3.0%	24.2%	60.6%	12.2%
⑦	私は、自信を持って英語での発表ができる。	3.0%	21.2%	51.6%	21.2%

意識調査によると、「英語を学ぶことは将来の自分にとって役に立つと思う」という項目で、「とてもそう思う」または「ややそう思う」と回答した生徒が全体の97%であった。また、「英語での自己紹介ができること」に関して、「とてもそう思う」または「ややそう思う」と回答した生徒の割合は、85%であった。一方で、「発表後の質疑応答」「あらすじ・要点を順序立てて伝える」という項目で、「とてもそう思う」または「ややそう思う」と回答した生徒の割合はそれぞれ35%、15.2%と低くなっている。また、英語で発表する際の聞き手に対する意識の項目(⑥)および英語での発表に関する項目(⑦)について、肯定的な回答をした生徒の割合はそれぞれ27.2%、24.3%と低くなっている。

(4) 指導観

○生徒がコミュニケーション活動をする中で、間違いを恐れず自信を持って自分の意見や考えを述べる姿を目指す。そのためにペア活動やグループ活動を授業の中に導入し、お互いを高め合おうとする雰囲気の中で、言語活動を行う。モデルを示すこと、ハンドアウトを工夫することや、多くのヒントを与えることで、生徒たちが自らコミュニケーションを円滑に進められるようにしていきたい。

研究の視点1

「見方・考え方」
に着目した
問いの工夫

- ①プレゼンテーション活動において、「聞き手に期待する行動」に着目させることで、生徒が方向性を持って活動に取り組むことができるようにする。
- ②単元構成やワークシート、プレゼンテーションの形式・方法等に工夫を施すことにより、生徒が主体的に言語活動に取り組むことができるようにする。

研究の視点2

学びを実感する
振り返りの工夫

- ③言語活動においてルーブリックを活用することにより、生徒が一貫した視点を持ちながら、相互評価を行い、振り返ることができるようにする。
- ④CAN-DO リストの項目を含めた振り返りシートを活用し、生徒が自らの変容に気づき、学びを実感できるようにする。

3 単元の目標と評価規準（参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」）

単元の目標	相手に期待する行動を意識して、プレゼンテーションを行うことができる。		
関心・意欲・態度	外国語の表現	外国語の理解	言語や文化についての知識・理解
①聞き手に期待する行動を意識して、プレゼンテーションを行っている。	①世界の祭りについて、聞き手に内容が伝わるようにプレゼンテーションを行っている。	①教科書本文の内容とその構成を理解している。	①ハロウィーンについて、その背景にある文化を理解することができる。 ②the＋形容詞、関係副詞、複合関係代名詞、及び複合関係副詞の意味・用法を理解することができる。

4 指導・評価の計画（8時間取扱い 本時8／8）

次時	学 習 活 動	研 究 の 視 点	評価の観点（評価方法） B基準
一	1 【Part1】 ○本文の内容を理解し、ワークシートを完成する。 ○メキシコのハロウィンについて話を聞く。	【研究の視点1】 ②海外のハロウィーンについて紹介することで、テーマに対する興味関心の高揚を図る。	外国語理解①，知識・理解①（ワークシート） ハロウィーンについての基本情報を整理し、内容に関する質問に英語で正しく答えることができる。
	2 【Part2】 ○本文の内容を理解し、ワークシートを完成させる。	【研究の視点1】 ②ワークシートを工夫し、生徒が文章を構造化して捉えることができるようにする。	外国語理解①，知識・理解①（ワークシート） ハロウィーンの起源について基本情報を整理し、内容に関する質問に英語で正しく答えることができる。
	3 ○プレゼンテーションを行う際の「聞き手に期待する行動」について考える。 ○サンプル映像を比較して、プレゼンテーションのポイントを学ぶ。	【研究の視点1】 ①「聞き手に期待する行動」について考えることで、生徒がプレゼンテーションにおける工夫の観点に気付くことができるようにする。	関心・意欲・態度①（観察） プレゼンテーションにおける「聞き手に期待する行動」について、グループで意見交換をし、考えをまとめている。
二	4 【Part3】 ○本文の内容を理解し、ワークシートを完成させる。		外国語理解①，知識・理解①（ワークシート） “Trick or treat!”についての基本情報を整理し、内容に関する質問に英語で正しく答えることができる。
	5 【Part4】 ○本文の内容を理解し、ワークシートを完成させる。		外国語理解①，知識・理解①（ワークシート） Jack-o'-lanternについての基本情報を整理し、内容に関する質問に英語で正しく答えることができる。
三	6 ○プレゼンテーション原稿とスライドを作成する。	【研究の視点1】 ①プレゼンテーションの方法に制限を加えることで、生徒が発表のための工夫について思考を深めることができるようにする。	外国語表現①（ワークシート・スライド） グループで協力して、プレゼンテーション用ワークシート及びスライドを作成することができる。
	7 ○プレゼンテーションの練習を行い、改善する。	【研究の視点2】 ③ルーブリックを活用することで、生徒が改善点に気付くための観点を持つことができるようにする。	関心・意欲・態度①（観察） ルーブリックを参考にして、グループで協議しながら、作成したプレゼンテーションに改善を加えている。
	8 ○ポスターツアー方式により「世界の祭り」についてのプレゼンテーションを行う。 ○振り返りを行う。	【研究の視点2】 ⑤ルーブリックを活用して相互評価を行うことで、生徒が一貫した視点から評価を行うことができるようにする。 【研究の視点2】 ④振り返りシートを工夫し、生徒が自らの変容に気付くことができるようにする。	外国語表現①（観察） 「世界の祭り」について、工夫を加えながらプレゼンテーションを行っている。

5 本時の学習

(1) 目標

聞き手に期待する行動を意識しながら、英語でプレゼンテーションを行うことができる。

【CAN-DO LIST(話すこと：発表) 2年後期】

「自分の気に入るものや身近なものなどを、原稿を基にして、聞き手に伝わるように発表することができる。」

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 5分	1 本時の流れを確認する。 学習課題(めあて)		
展開 30分	2 ルールを確認する。	○グループを作り、ポスターツアー的な手法を用いてクラス全員が必ず1回はプレゼンテーションを行うようにする。	
	3 プレゼンテーションを行う。(6分×5回) 【言語活動】 世界の「おもしろい」お祭りとその起源を紹介する際、聞き手に期待する行動を意識した工夫を凝らして英語で発表する。	<p>能動型学習 (ポイント)</p> <p>○それぞれのグループが、聞き手に期待する行動を明確に持ち、工夫したプレゼンテーションを行っている。</p> <p>評価：外国語表現①(観察)</p> <p>B基準 英語でのプレゼンテーションにおいて、聞き手に伝わるように話し方や話の構成、スライド等を工夫して行っている。</p> <p>A基準 原稿を見ずに、英語でのプレゼンテーションを行っている。 (B基準に達していない生徒への手立て)</p> <p>○ルーブリックやワークシートを確認させて、プレゼンテーションのねらいを意識させる。</p> <p>【研究の視点2】</p> <p>③ルーブリックを活用して相互評価を行うことで、生徒が一貫した視点から評価を行うことができるようにする。</p>	
7分	○相互評価		
5分	4 投票	○1位のグループを発表し、全体の前でプレゼンテーションを行わせる。	投票カード
	5 振り返り(グループ) ○話し合い活動	○1位の発表や相互評価の結果を基にして、自分たちのプレゼンテーションのねらいが果たせたかについてや、改善すべき点を明らかにする。 ※グループ内での話し合いは日本語で行わせる。	
整理 3分	6 振り返り(個人) ○振り返りシート記入	【研究の視点2】 ④振り返りシートを記入させることで、生徒がプレゼンテーションに対する取組全般を振り返り、自らの変容に気付くことができるようにする。	振り返りシート